

県小学校



＜所在地＞

〒512-1204 四日市市赤水町 1002 番地

TEL 059-325-2084

1 読書活動について

（1）読書活動の推進について

ア 読み聞かせボランティア「かぐやひめ」さんによる活動

【朝の読み聞かせ】

月に1回、各クラスの朝の学習の時間に、絵本の読み聞かせをしていただいている。季節に合った絵本や、人権に関わる絵本など、さまざまな種類の絵本に出合う機会であり、子どもたちは目を輝かせて聞き入っている。

【かぐやひめ図書室「にじいろ文庫」】

かぐやひめさんが管理されている図書室である「にじいろ文庫」では、子どもたちはソファで一人読みをしたり、紙芝居を聞かせていただいたりして、思いおもしろいスタイルで本を味わうことができる。

イ 図書館まつりイベント

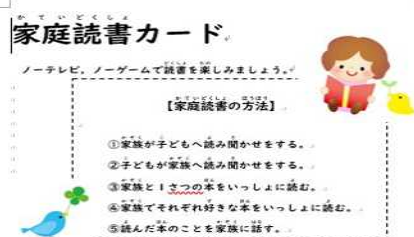
【おみくじ読書】

学校司書と協力し、全学年に「おみくじ読書」活動を行った。期間中、自分で選んだ本と、おみくじで引いて出た番号の本を家庭用に借りられるようにした。子どもたちからは、「こんな本、読んだことない。」「分厚いなあ。」などの声が上がっていたが、活動後の感想には、前向きに取り組めた声が多く聞かれた。

（2）家庭読書の推進

ア 夏休み「家庭読書カード」の活動《全学年》

夏休みという長い期間に、家族で読書を楽しんでもらえるよう毎年企画している。



2 授業での学校図書館の活用

【3年生】国語科「モチモチの木」

～斎藤隆介の作品を読もう～

「モチモチの木」の作者である斎藤隆介の著作を廊下に集め、心に残った1冊を決めてシーンを張り、どんなところが心に残ったのか話し合う活動を行った。子どもたちは鮮やかな挿絵とともに物語を味わい、その味わいを友達と共有することでさらに斎藤隆介の物語を読み味わっていた。



3 表現活動について

全学年、全員でビブリオバトル！！

（1）ねらい

互いに本を紹介し合うことで、これまで手に取らなかった本に関心を持ったり、相手に伝えたいことを工夫して書いたり話したりする表現力をつける。



（2）児童の様子

子どもたちは、自分がおすすめる本のよさを限られた短い時間でうまく伝えるように、繰り返し練習をしていた。本番は、自分が発表するだけでなく、友だちがすすめる本も興味を持って聞くことができていた。

4 成果と課題、今後の方向性について

今年度、様々な活動を行ったことによって、図書館まつりの期間は来館者数も増え、5・6年生の貸し出し冊数は昨年度とあまり変化がなかったが、1～4年生の貸し出し冊数は増加した。委員会活動などで休み時間が取られたり、様々な行事でなかなかゆっくり図書館で本を選ぶ時間がとれなかったりした、というのが現状である。今後は高学年も図書館の本を楽しめるよう、活動を進めていく。